

# NICE SMILE

2018  
新春

VOL.72

## 02 新年特別インタビュー

# りんくう再建元年・ 病院再生への挑戦

病院長 山下 静也

## Contents

### 01 年頭挨拶

### 2025年問題に向けて、 りんくうの進むべき道

理事長 八木原 俊克

### 08

第2回りんくう健康フェア／新任医師紹介／  
小野医師表彰／ご寄附のお願い／編集後記

### 06 特別寄稿01

### 泉州地域の救急医療ネットワーク 10年目の検証とこれから

副病院長 松岡 哲也

### 07 特別寄稿02

### りんくう看護2018 高齢化社会とリスクマネジメント

看護局長 藤野 正子

### 07 特別寄稿03

### 魅力ある病院・ 魅力ある研修システムとは何か

診療局長 烏野 隆博

医療機関はなく、急性期病床  
りんくう以外に高度急性期の  
比較的医療過疎地域であり、  
中でも南部地域は、府の中では  
2次医療圏毎の調整会議は始  
まったところだ。

しかしながら、泉州医療圏の  
病床機能報告制度が開始され  
ました。また、府の指導の下、  
病床数の調節が促され、昨年、  
病床を増やす、などの機能別  
理念に基づき、まずは急性期  
病床を大幅に減らし、回復期  
病床を増やす、などの機能別  
病床数の調節が促され、昨年、  
病床機能報告制度が開始され  
ました。また、府の指導の下、

病床を増やす、などの機能別  
病床数の調節が促され、昨年、  
病床機能報告制度が開始され  
ました。また、府の指導の下、  
病床を増やす、などの機能別  
病床数の調節が促され、昨年、  
病床機能報告制度が開始され  
ました。また、府の指導の下、

病床機能報告制度が開始され  
ました。また、府の指導の下、  
病床を増やす、などの機能別  
病床数の調節が促され、昨年、  
病床機能報告制度が開始され  
ました。また、府の指導の下、

病床数の調節が促され、昨年、  
病床機能報告制度が開始され  
ました。また、府の指導の下、  
病床を増やす、などの機能別  
病床数の調節が促され、昨年、  
病床機能報告制度が開始され  
ました。また、府の指導の下、

病床機能報告制度が開始され  
ました。また、府の指導の下、  
病床を増やす、などの機能別  
病床数の調節が促され、昨年、  
病床機能報告制度が開始され  
ました。また、府の指導の下、



年頭挨拶

## 2025年問題に向けて、 りんくうの進むべき道

りんくう総合医療センター理事長 八木原 俊克

数も多くはない特徴があり  
ます。また、既に多くの医療機  
関が密な相互協力体制にあ  
る特徴的な地域でもあるこ  
とを考えると、りんくうの進  
むべき道は、急性期機能を保  
持し、「最後の砦」であり続け  
ると共に、地域の在宅医療体  
制強化には後方支援体制を  
とるなど、近隣医療機関との  
さらなる相互協調を高める  
ことが重要かと思われま

一方、国を挙げて「働き方改  
革」が議論される中、「医師の  
働き方改革」も大きな議論に  
なっています。当院は救急医  
療の維持を重要視しており、  
医師に限らず、病院職員の働  
き方改革については、早急に  
取り組まねばならない重要  
課題となっています。

2025年まであと7年、  
今年が平成最後の年となるこ  
ともあり、医療・介護の領域の  
みならず、社会全体に大きな  
時代のおねりを感ぜさせる  
年になりそうです。

本年も引き続き、皆様方  
のご理解とご支援をよろしく  
お願いします。

本年も引き続き、皆様方  
のご理解とご支援をよろしく  
お願いします。

本年も引き続き、皆様方  
のご理解とご支援をよろしく  
お願いします。